

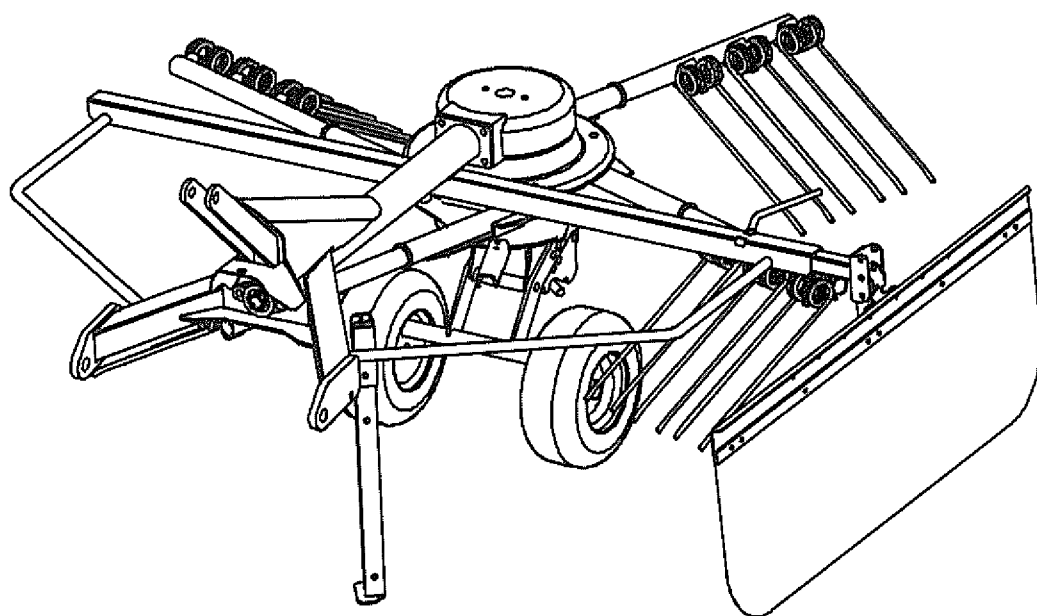
取扱説明書及び部品表

Takakita

ロータリーレーキ

TR2260

TR2260-OS



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**ロータリレーキ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも**必ず製品に近接して保存**してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警告サイン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

- | | |
|------|--|
| ⚠ 危険 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。 |
| ⚠ 警告 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。 |
| ⚠ 注意 | その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。 |

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	8
各部の名称とはたらき	9
トラクタへの装着	10
1. 3点リンケージへの装着のしかた	10
2. ユニバーサルジョイントの取付け	10
3. 日農工標準オートヒッチ取付け	11
4. スタンド使用方法	12
運転に必要な装着の取扱い	13
1. タインの高さ調整	13
2. カムレバーの取扱い	13
3. キャンバスアームの取扱い	14
4. キャスターの取扱い	15
作 業 方 法	16
1. 作業手順と要点	16
2. 移動をするときは	17
3. 作業時の調整	17
4. 傾斜地での作業	18
作業前の点検について	19
点検一覧表	19
簡単な手入れと処置	20
1. タイヤの空気圧の調節、及び摩耗、損傷	20
2. 各部への注油	20
3. 長期格納時の手入れ	21
不 調 診 断	22
付 表	23
1. 主要諸元	23
2. 主な消耗部品	23

安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

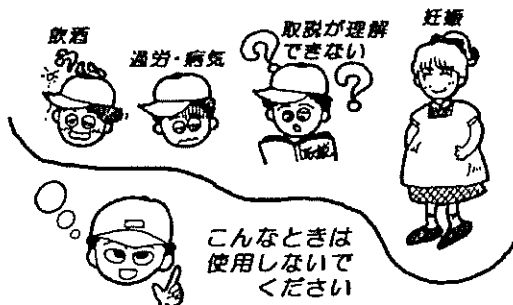
機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

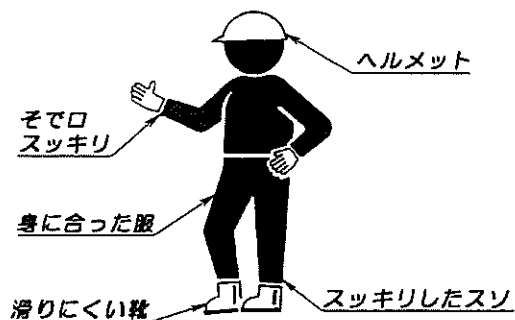
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。

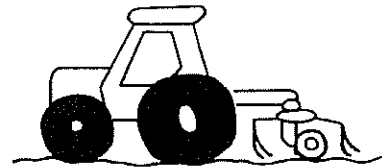


(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

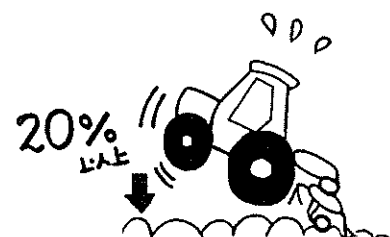
●適応トラクタ馬力と装着方法

型 式	馬力 kW (PS)	装着方法
TR2260	11.0～22.1 (15～30)	3点リンク直装式 (カテゴリ0・I兼用)
TR2260-0S		日農工標準オートピッチ



(4) 装着時の前後のバランス確認

3点リンケージに装着して持ち上げたときに、総重量の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。もし、不足するときはトラクタ指定のフロントウエイトを取付けて、20%以上を確保するか、できなければ装着しないでください。



(5) バランスウエイトの取付け

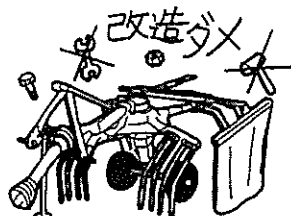
トラクタのバランスウエイトは指定された部分に指定されたウエイト以外は取付けしないでください。

⚠ 安全に作業するために

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。

また、改造をしないでください。



(7) 使用目的以外への使用禁止

本機は稲ワラ、牧草、麦稈等の集草作業を目的として作られた機械です。

他の目的には使用しないでください。

(8) 機械を他人に貸すとき

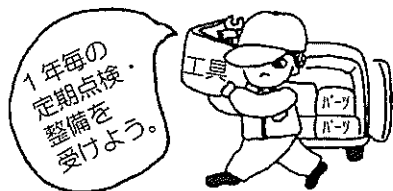
取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

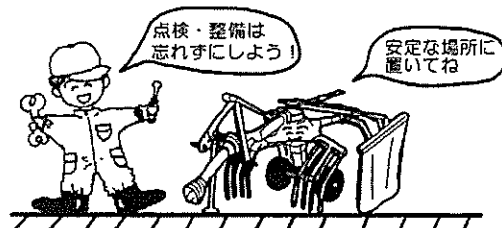


(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

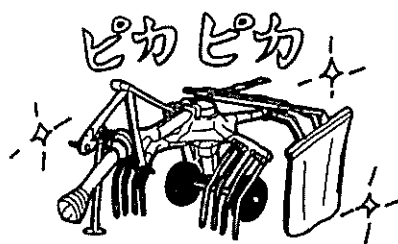
(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でP.T.O.を切り、トラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



(4) 機械を常にきれいに

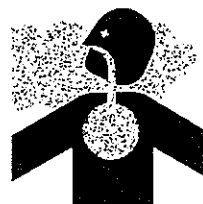
火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。

エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



⚠ 安全に作業するために

(6) 注油・給油するときは

P T Oを切り、エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。

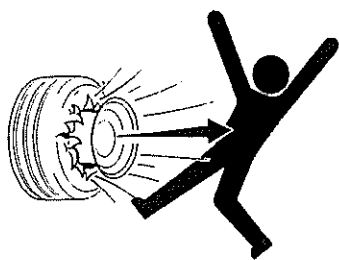


(7) タイヤの点検・修理をするときは

- ①タイヤの空気圧は、規定の空気圧を必ず守ってください。
- ②空気の入れ過ぎはタイヤ破損の恐れがあり、死傷事故を引き起こす原因になります。
- ③タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。

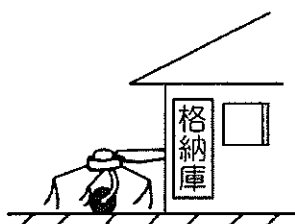
タイヤ破損の恐れがあります。

- ④タイヤ・チューブ・ホイールなどに関する交換・修理などは十分な整備施設をもち、特別教育を受けた人がいるタイヤショップ等の専門店で依頼してください。



(8) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。



3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

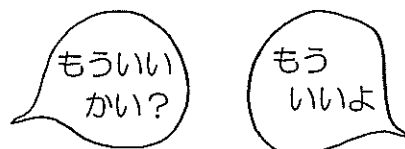


(2) P T O回転中は危険です

回転部には近寄らない、触らないを守ってください。

(3) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) エンジンを始動するときは

P T Oを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

安全確認



⚠ 安全に作業するために

(5) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。

(6) 傾斜地で作業するときは

次のことを必ず守ってください。

- ① 斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。

斜面の作業は、必ず等高線に直角方向に走行してください。

- ② 傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。高速で旋回すると、転倒する危険があります。

(7) 回転中のユニバーサルジョイントには触れない

回転しているユニバーサルジョイントに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ傷害を負うことがあります。



(8) 回転中のロータには触れない

回転しているロータに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ傷害を負うことがあります。

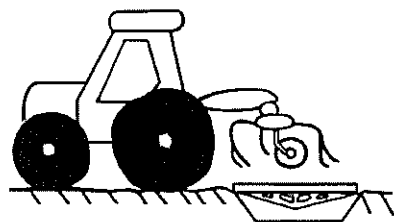


(9) 移動及び旋回するときは

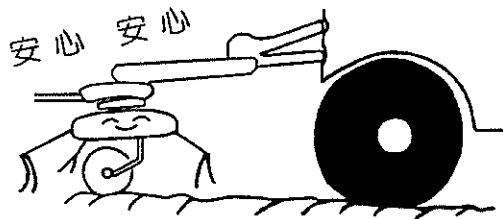
トラクタに本機を装着しての移動やほ場での旋回は、必ず3点リンケージでリフトアップしてから行ってください。急旋回は危険ですので行わないでください。

(10) 溝や畦を横断したり軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



(11) 作業途中で運転席より離れるときは平坦な場所に降ろし、PTOを切り、エンジンを止め、駐車ブレーキを掛けてください。



(12) スタンドを移動位置にする

移動するときは必ずスタンドを上げて走行してください。

⚠ 安全に作業するために

4. 道路走行・輸送するときは

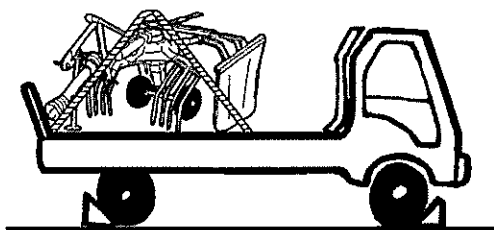
(1) トラクタに装着しての公道走行禁止

トラクタに本機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに装着しての走行はしないでください。

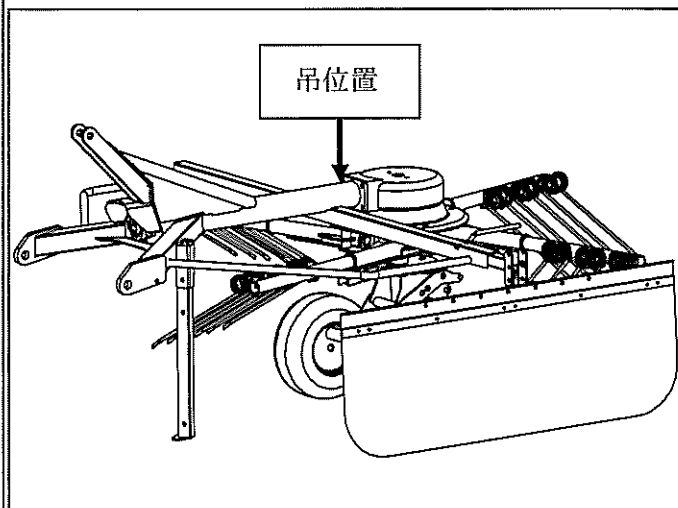
(2) トラックなどへの積み込み・積降ろしは

平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止め、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。

積込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。



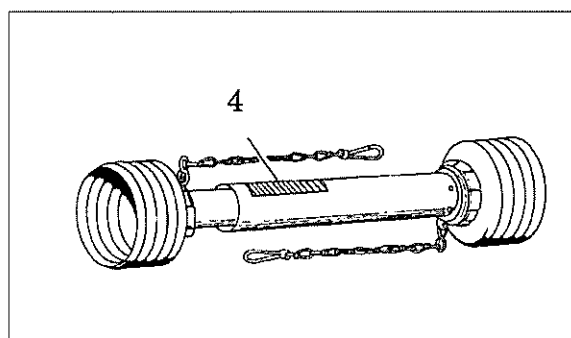
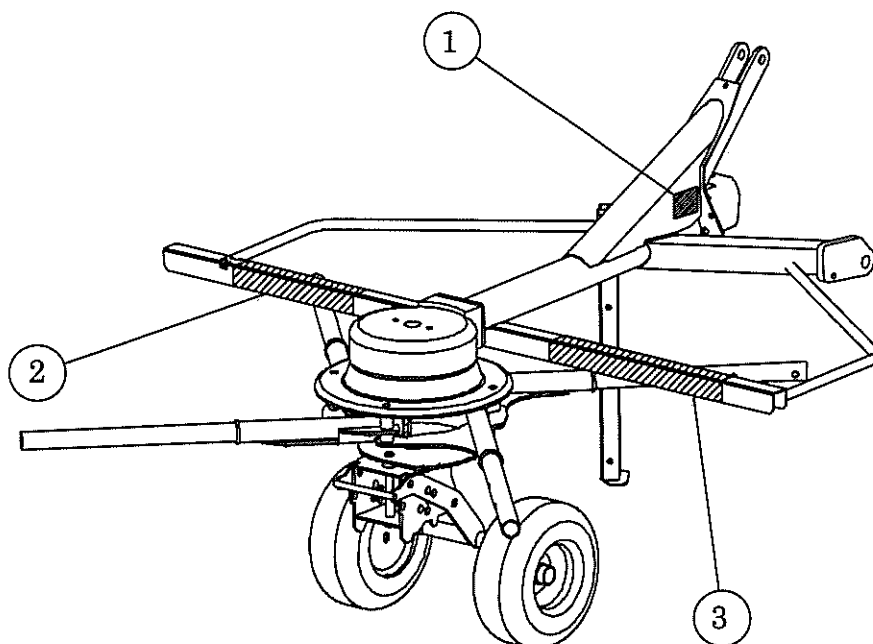
(3) 機材を吊って移動させる際は下図の矢印の位置に吊具等をしっかり固定して吊り上げるようにしてください。



以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

⚠ 安全に作業するために

5. 警告ラベルの貼付け位置



①部品コード 00120-6001-961

⚠ 注意 - 取扱いを誤ると事故や故障の原因となりますので、必ず取扱説明書を熟知するまでお読みください。 - ラベルが腐ついたり、汚れたり、はがれた場合は、新しいラベルを指定の場所に貼ってください。 - エンジン始動前に機械の周りに人がいないことを確認してください。 - 作業中は人や動物を近づけないでください。 - トラクタから離れるときは、必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。 - 斜面での駐車時は歯止めをしてください。 - 点検等は必ずエンジンを止めて実施してください。 手、足及び衣服を運動部分に近づけないでください。 - 道路走行は、道路交通法規を遵守してください。	⚠ 警告 回転中接近するな、石などが飛散してケガをするおそれがあります。 回転中接近するな、駐れると巻き込まれ、重傷を負うおそれがあります。
--	--

②部品コード 00130-6000-370

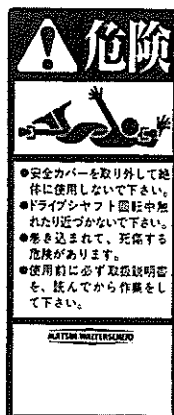


③部品コード 00130-6000-380



! 安全に作業するために

④部品コード 001306951010



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、稲ワラ、牧草、麦稈等の集草・拡散(反転)作業にご使用ください。

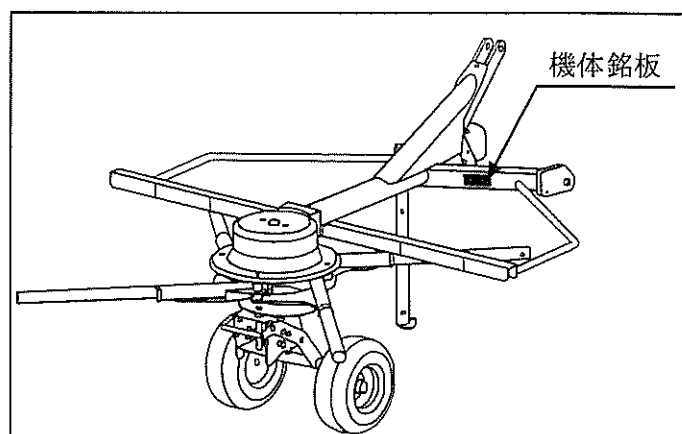
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

●品名と型式

機体 No. (SER-No)

●ご使用状況は？

(どんな条件でどんな作業をしていたときに)

●どれくらい使用されましたか？

(約〇〇アール、または約〇〇時間使用後)

●不具合が発生したときの状況をできるだけ

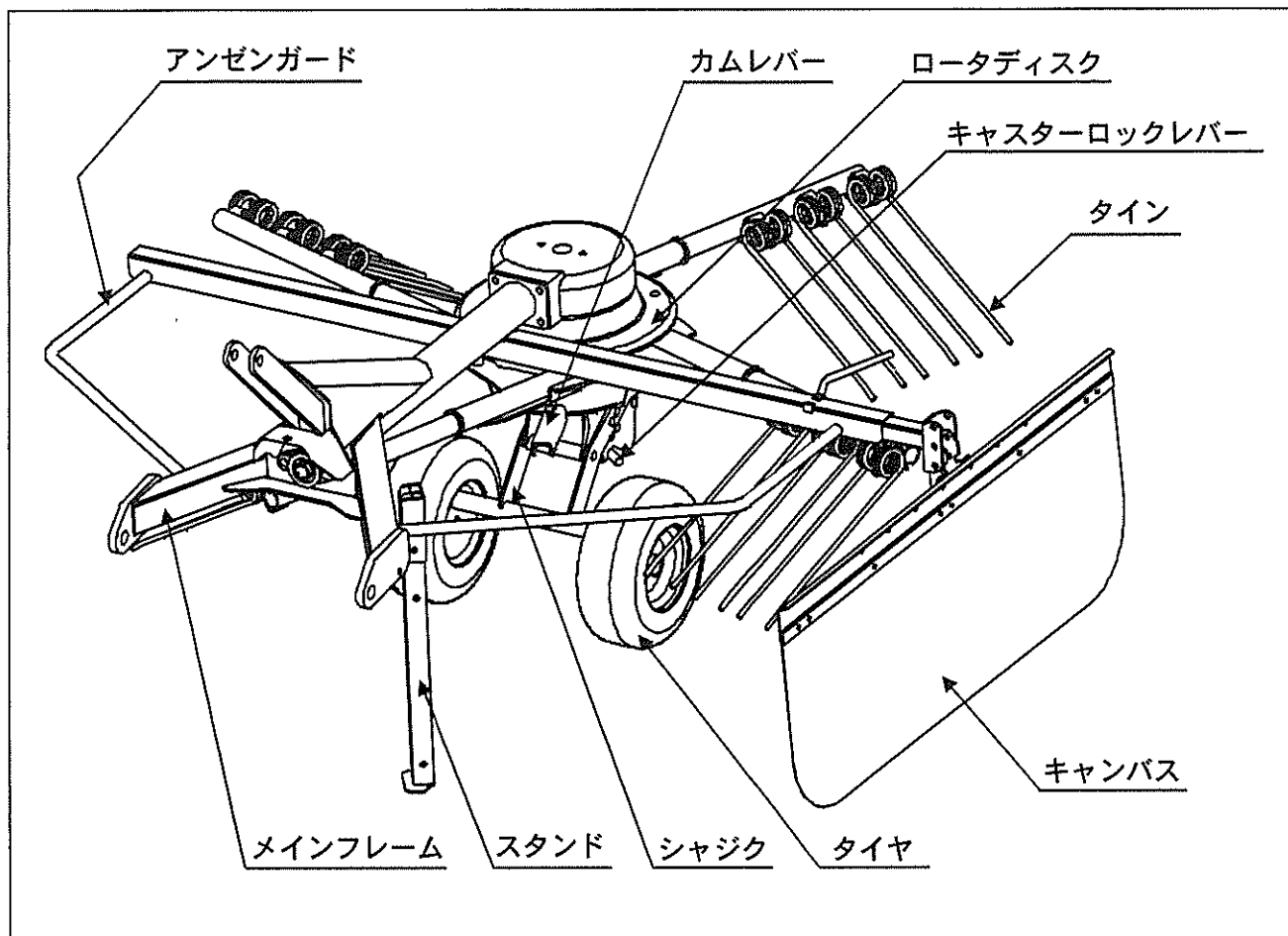
詳しく教えてください。

※機体Noは、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品名	ロータリレーキ
型式	TR2260
機体 No. (SER-No)	
購入年月日	年 月 日
販売店名	TEL : ()

各部の名称とはたらき



名 称	は た ら き
メインフレーム	トラクタの3点リンケージと連結します。
ローターディスク	タインパイプを支持します。
キャンバス	集草幅の調整を行います。
シャジク	2本のタイヤで本機を支持し、タインの高さ調節に使用します。
タイヤ	本機を支えます。
カムレバー	作業時のカム位置を変更する際に使用します。
スタンド	保管時に本機の支持に使用します。
タイン	牧草などを集草させます。
アンゼンガード	人や器物がタインに巻きこまれるのを防止します。
キャスターロックレバー	クイックヒッチ装着時等、キャスターをロックする場合に使用します。

トラクタへの装着

！ 警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
- 3点リンケージへの装着はリンケージの動きに十分注意し、二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを止め、P T Oクラッチを切ってから確実に取付けてください。

以上のことを守らないと傷害発生の恐れがあります。

1. 3点リンケージへの装着のしかた

◆3点リンケージの装着順序

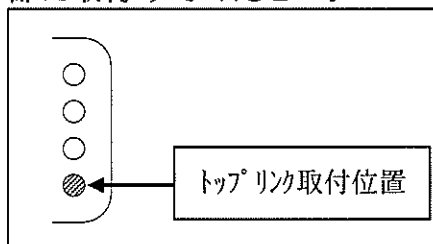
左のロワーリンク、右のロワーリンク、トップリnkの順序で取付けてください。

◆スタンドを格納してください

3点リンケージの取付けが終われば、スタンドを上げて格納してください。

◆トップリnkの連結穴位置

トラクタ側のトップリnk連結位置はトップリnkが最も角度がつくように最下部に取付けてください。



◆トップリnkの長さ調整

トップリnkの長さによりフレームが水平になるように調整します。

(詳細は作業方法の項参照)

◆チェックチェーンで横振れ調整

運搬時および作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタ中心にロワーリンクが左右に2～3 cm 程度の振れになるように調整してください。

2. ユニバーサルジョイントの取付け

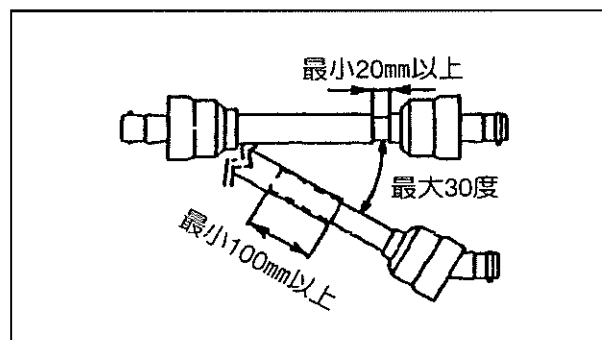
◆ユニバーサルジョイントの取付け順序

本機入力軸に取付けてから、トラクタP T O軸に確実に取付けてください。

◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイント長さは、3点リンケージによる本機の上昇・下降により変化します。先に、ジョイント長さが長すぎないかを確認してください。

長すぎるときは、下図の寸法が確保できるように切断してください。



注意

また、作業時のジョイント角度は、最大30度を超えないよう調整をしてください。

30度を超えるとジョイント破損の原因となります。

◆カバー回転止めチェーンで固定

ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけてしっかりと固定してください。

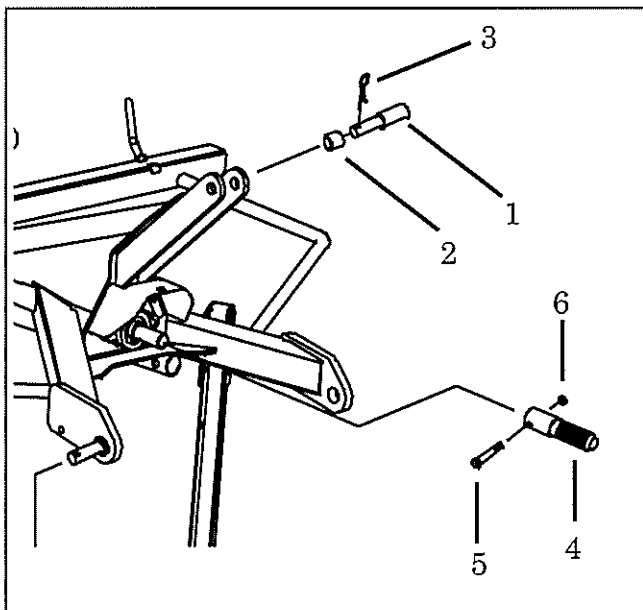
トラクタへの装着

3. 日農工標準オートヒッチ取付け (TR2260-0S)

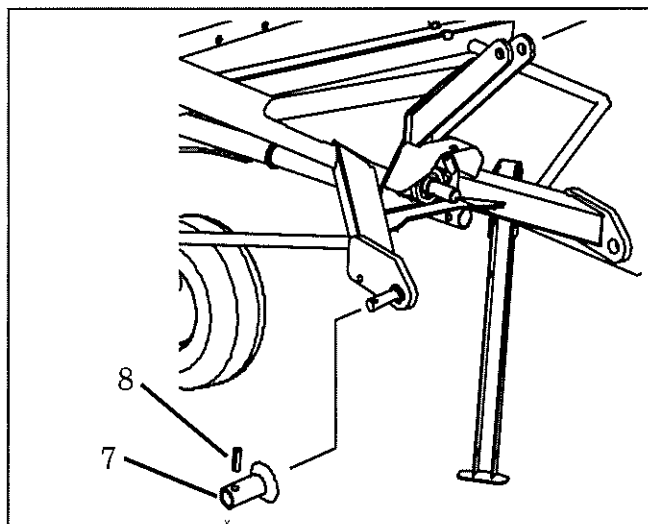
◆ 組付け手順

[1] 本機のトップリンク部に①トップリンクピン、②トップリンクカラー、③アールピンを組付けてください。

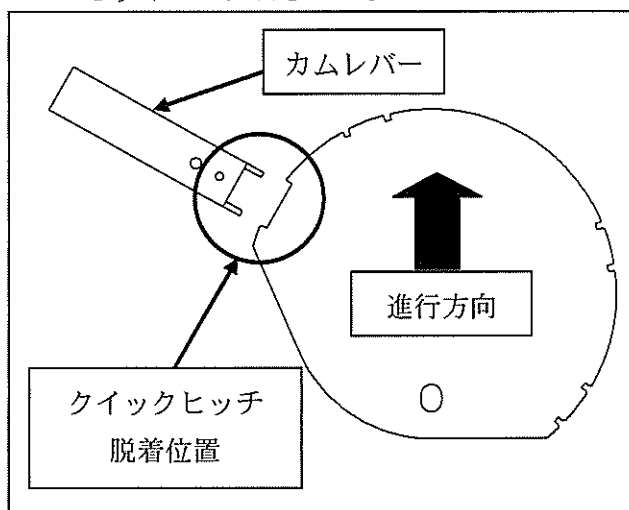
[2] ④スプライン入力軸を本機側の入力軸 ⑤ボルト 8×50 及び⑥ナイロンナット 8 で確実に組付けてください。



[3] ロワーリンクピンに⑦ガイドカラーを挿入し、⑧ロールピン(φ10×36)を打ち込み固定します。



[4] カムレバーをオートヒッチ脱着の位置にセットしてください。



[5] スタンドの組付け

スタンド図 (P. 12 参照) の 2 段目の穴 B を使用してください。

[6] 上記[1]～[5]で日農工標準オートヒッチ用部品の組付けは完了です。

注意

- 本機の装着後、トラクタのローワーリンクをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンクの持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。
- 入力軸、ジョイント破損の原因となるため、作業機装着前にジョイントがスムーズに伸縮することを確認してください。また、作業機昇降時ジョイント角度が15°以上になる場合は、PTO駆動を停止してください。

トラクタへの装着

4. スタンド使用方法

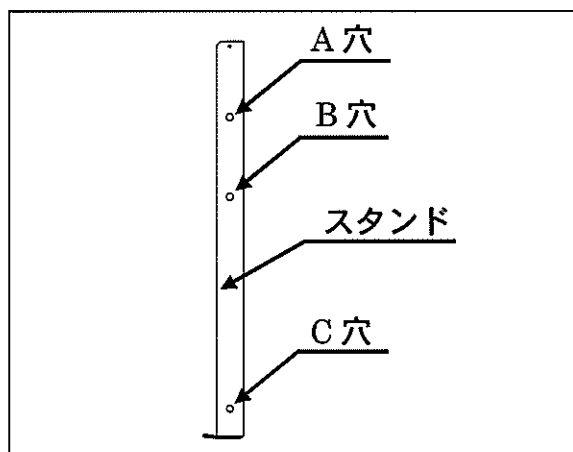
スタンドの高さは3 P直装で取付する場合は、下図の1段目の穴Aを使用して取り付けを行ってください。

日農工標準オートヒッチで取付を行う場合は、下図の2段目の穴Bを使用してください。また、トラクタへの取付の際はタイヤを機体前方に回転させ、キャスターをロックしてからオートヒッチ脱着をおこなってください。

(キャスターの取扱いはP.15参照)

作業時は3段目の穴Cを使用してください。

なお、タインの高さ調整を低く設定している場合は、A穴をした場合機体バランスが悪く、機体が後ろへ転倒する場合がありますため、その際はB穴を使用するようにしてください。



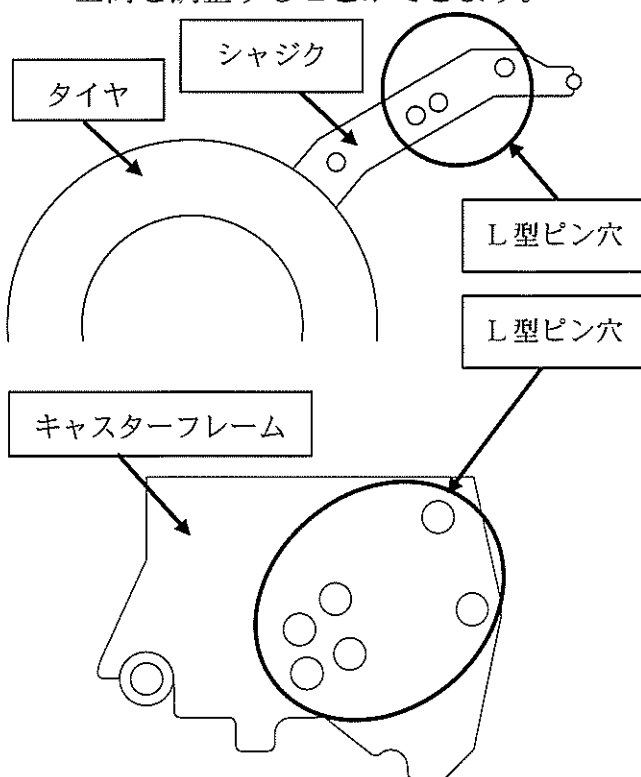
警告

キャスターのロックをせずにオートヒッチ脱着を行うと、タイヤが回転し機体が転倒する恐れがあります。

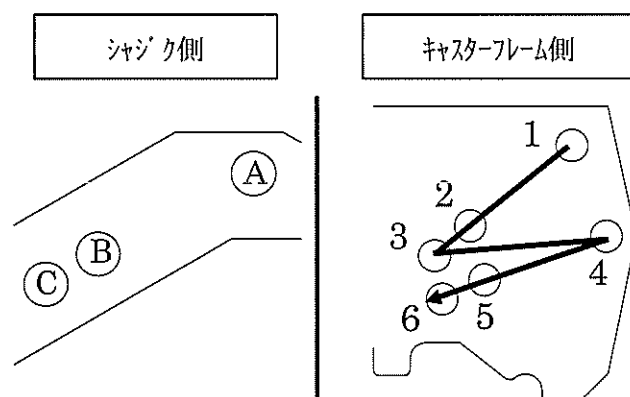
運転に必要な装置の取扱い

1. タインの高さ調整

- L型ピン差込み穴を変更し、タインの地上高を調整することができます。



- L型ピンの高さ調整



タイン高さ	シャジク側	キャストフレーム側
高	A	1
	B	2
	C	3
	A	4
	B	5
低	C	6

※約 15 mm のピッチで高さ調整が可能です。

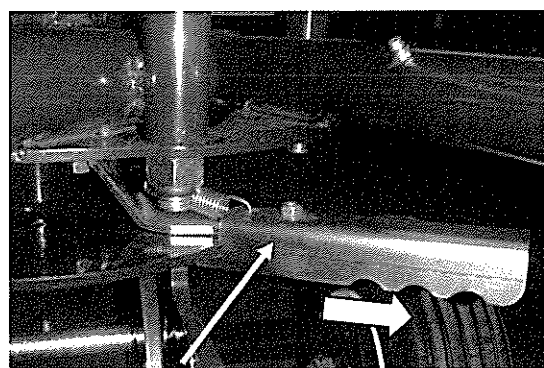
警告

タイヤの高さ位置変更の時は必ずトラクタのエンジンを止めてから行ってください。

これを怠ると傷害発生の恐れがあります。

2. カムレバーの取扱い

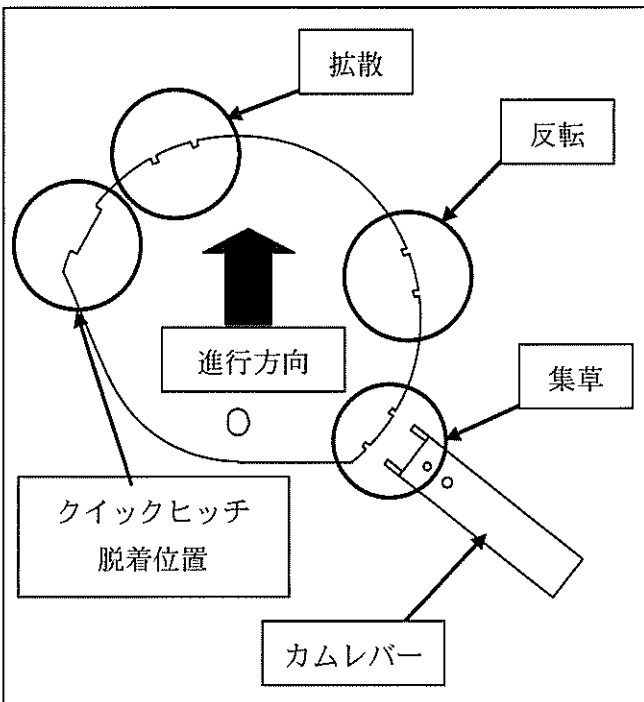
集草・拡散・反転・クイックヒッチ装着等の目的に合わせ、カムレバーの位置を変更してください。



カムレバーを手前に引いてロックを外し所定の位置まで回してください。

カムレバーは確実に所定位置に入るように押し込んでください。

運転に必要な装置の取扱い



◆簡易拡散作業

ウインドローを拡散して、乾燥を促進させます。

◆簡易反転作業

拡散された牧草やワラを乾燥状態により一日に数回反転し、乾燥を促進させます

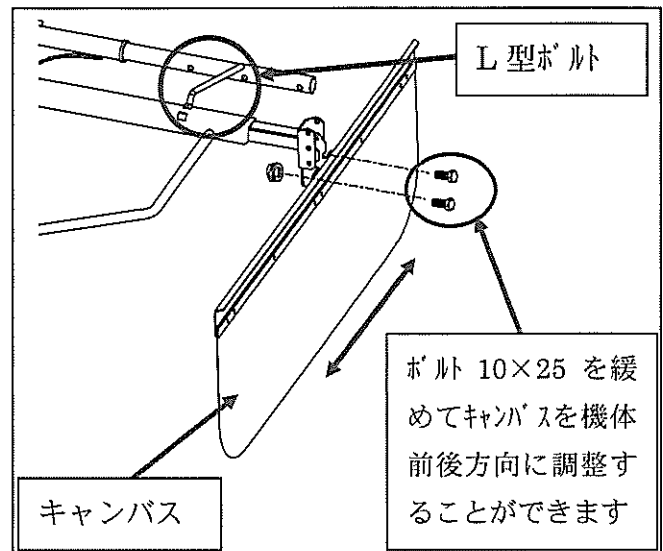
※カムレバーを大きく回す場合は、ロータディスクを手で回しながらカムレバーを回してください。

警告

カムレバーの位置変更は、必ずトラクタのエンジンを止めてから行ってください。
これを怠ると傷害発生の恐れがあります。

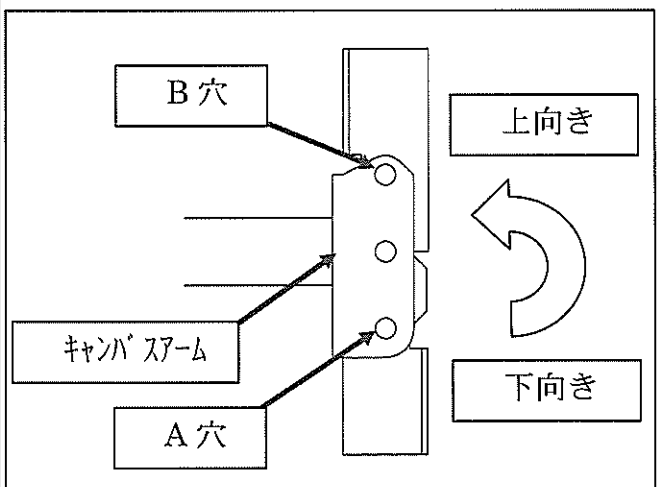
3. キャンバスアームの取扱い

●集草量により L 型ボルトを緩め、キャンバスの出量を調整してから L 型ボルトを再度しっかり締め直してください。



※大きなウインドローを作る際はキャンバスを上向きにして作業を行う事も可能です。

● 集草・拡散・反転・移動で、キャンバスの向きを変更してください。



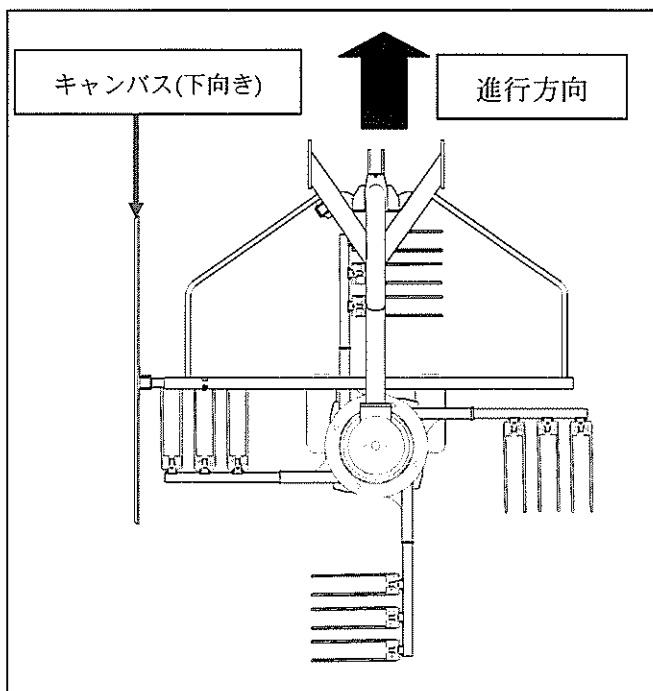
A 穴…集草作業時に使用してください。
(キャンバスは下向きになります)

B 穴…拡散、反転、クイックヒッチ装着時、移動時に使用してください。
(キャンバスは上向きになります)

運転に必要な装置の取扱い

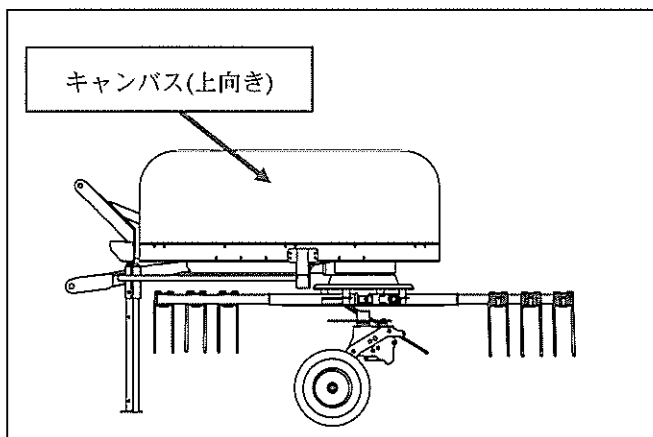
◆集草時

トラクタの後ろから見て左側にキャンバスがくるように組付けてください。



◆拡散・反転及び移動時

キャンバスを上向きに収納してください。



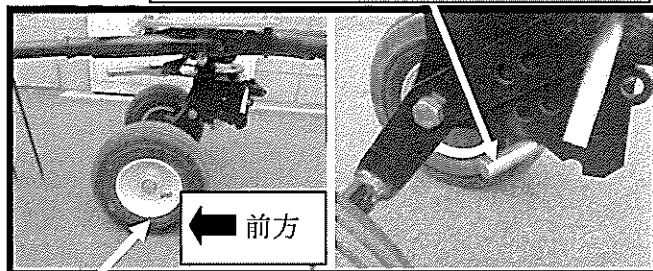
⚠ 警告

キャンバスの位置変更は、必ずトラクタのエンジンを止めてから行ってください。
これを怠ると傷害発生の恐れがあります。

4. キャスターの取扱い

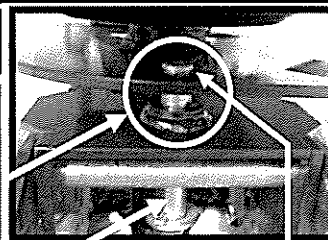
●保管時、手押しでの移動時、クイックヒッチ(0S)装着時はタイヤの向きを機体前方に回転させ、キャスターロックピンを下図の位置にしてキャスターをロックしてください。

キャスターロックピンをロックする



タイヤを機体前方に回す

ロック穴にピンが差し込まれていることを確認してください。

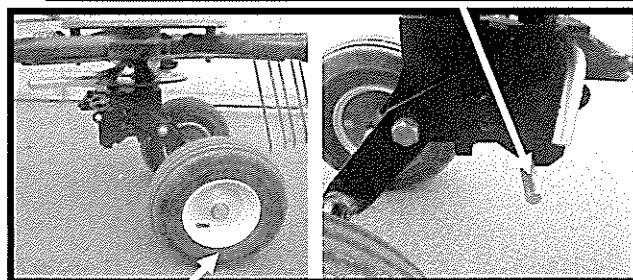


ロックピン

ロック穴

●作業時はキャスターロックピンを下図の位置にしてロックを解除し、タイヤの向きを機体後方に回転させ、キャスターをフリーにして作業を行ってください。

キャスターロックピンのロックを外す



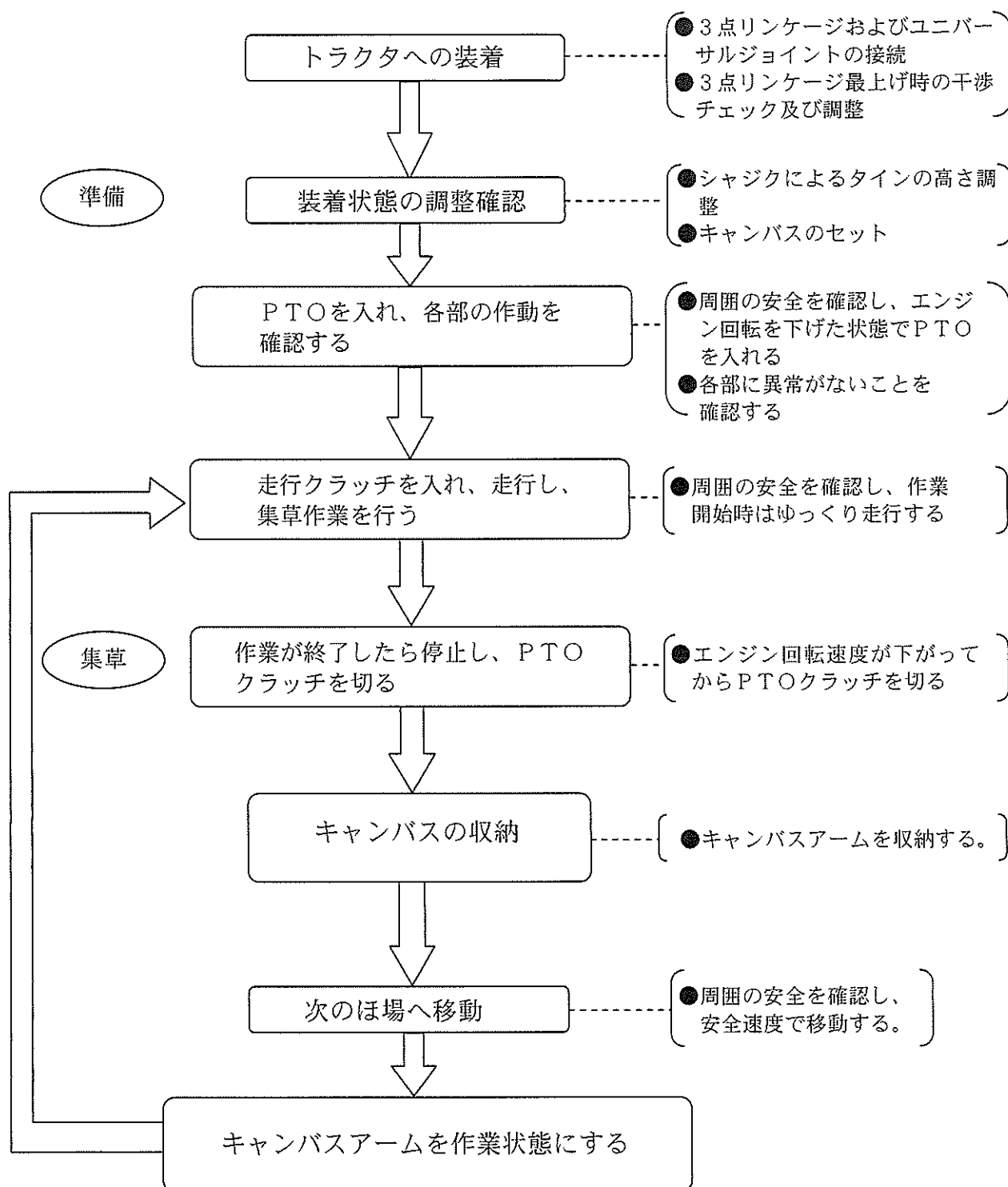
タイヤを機体後方に回す

⚠ 警告

・キャスター位置変更は、必ずトラクタのエンジンを止めてから行ってください。
これを怠ると傷害発生の恐れがあります。
・キャスターロック状態で作業しないでください。機体が破損する恐れがあります。

作業方法

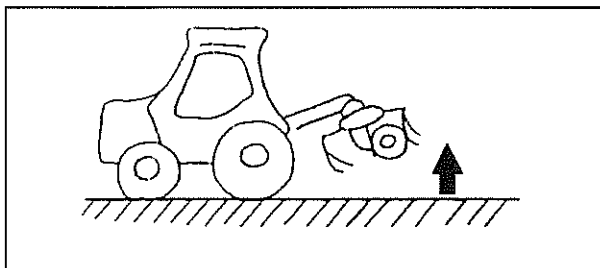
1. 作業手順と要点



作業方法

2. 移動するとき

- ・移動するときは、キャンバスを収納し、必ず本機を十分な高さまで3点リンケージで吊り上げてから走行してください。
- ・キャスターをロックしてください。



警告

- ①移動するときは、必ずキャンバスを収納してください。
- ②本機を装着しての運転は、道路およびまわりの条件に適した速度で行ってください。
絶対に急発進・急ブレーキ・急ハンドルは行わないでください。
- ③カーブを曲がる時は、重心の変化や機械の幅に十分注意してください。
作業姿勢のまま移動されますと、人に重大な傷害を加えたり、物損事故を起こす恐れがあります。

3. 作業時の調整

◆タインの高さ調整

- シャジクのL型ピンの差込穴を変更してタイン地上高を調節してください。
(P.13 参照)
- トラクタに装着し、フレームが地面に対し、水平な場所で調節してください。
- ほ場条件に合わせタイン高さを変えてください。

ほ 場 条 件	タイン地上高
一 般 ほ 場	10～20mm
凸凹の激しいほ場	30～40mm
軟 弱 ほ 場	30～40mm

- 少しの調節はトップリンクの長さ又はトラクタのロワリンク高さを變えることで調節してください。

◆キャンバスアームの調整

キャンバスアームの出量を調整することにより、ウィンドローの幅を變えることができます。

※草量および草丈により調整してください。

- 草量の多いとき（牧草・長ワラ等）
……………キャンバスアームを広げる
- 草量の少ないとき（切ワラ等）
……………キャンバスアームを狭める

※大きなウィンドローを作る場合はキャンバスを上向きの位置で作業を行う事も可能です。

警告

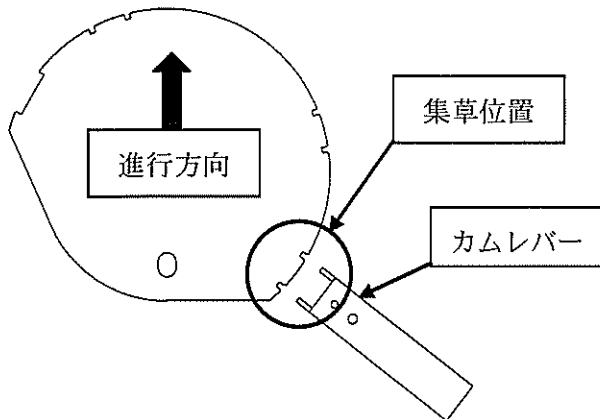
キャンバスの位置変更は、必ずトラクタのエンジンを止めてから行ってください。
これを怠ると傷害発生の恐れがあります。

作業方法

◆カムレバーの位置変更

集草は、下図の位置にカムレバーをセットして作業を行ってください。

(P.14 参照)



警告

カムレバーの位置変更は、必ずトラクタのエンジンを止めてから行ってください。

これを怠ると傷害発生の恐れがあります。

◆適正回転速度

作物の種類、ほ場の条件に合わせ、適切な速度と回転速度をお選びください。

目安としては下表を参考にしてください。

	集草		反転、拡散	
PTO 回転速度 (min ⁻¹)	400~540		500~540	
作業速度 (km/h)	長草	3~5	長草	5~7
	短草	3~4	短草	

※草量が多い場合は、速度を下げたて作業を行なってください。

警告

①作業中は、まわりに人や動物を近づけないでください。石などがタインで飛ばされ、人などに当たるおそれがあり大変危険です。

②PTO回転中は、ロータには近づかないでください。触れると巻き込まれる恐れがあり大変危険です。

これらを守らないと死亡あるいは重大な傷害発生の恐れがあります。

4. 傾斜地での作業

◆必ず斜面の等高線に直角方向に走行し、旋回時は速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。

警告

斜面の等高線に平行、または斜め走行や急旋回は横転の危険がありますので、決して行わないでください。

作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前の点検は、欠かさず行ってください。

警 告

- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
- 点検・整備をするときはP T Oを切り、エンジンを停止させ、回転部が止まってから行ってください。

点検一覧表

No.	項 目	内 容	参照ページ	チェック
1	ユニバーサルジョイント	取付けが完全か	1 0	
2	各部のボルト・ナット	緩み、ガタつきがないか	—	
3	機体の姿勢	正しい姿勢になっているか	1 0	
4	タイン	欠損がないか	—	
5	タイヤ	空気圧は適正か	2 0	
6	各部への注油・グリスアップ	各部へのグリスアップは十分か	2 0	

点 検 メ モ

簡単な手入れと処置

警告

- ①各部の調整をするときは、P T Oを切り、エンジンを停止させて回転部が完全に止まってから行ってください。
- ②取外したカバー類は必ず取付けてください。

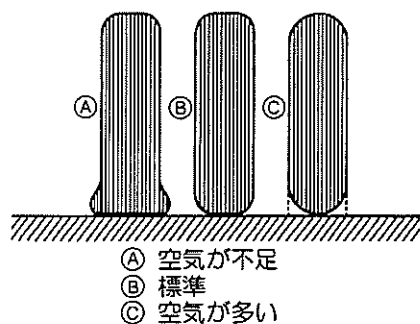
1. タイヤの空気圧の調節、及び摩耗、損傷

- ◆作業前にはタイヤの空気圧を確認してください。

警告

- タイヤの空気圧は取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。
空気の入れ過ぎは、タイヤ破損の恐れがあり死傷事故を引起す原因になります。
- タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。
タイヤ破損の恐れがあります。
- タイヤ・チューブ・ホイールなどの交換・修理は、十分な整備施設をもち、特別教育を受けた人がいる
 タイヤショップ等の専門店で依頼してください。

外観からタイヤの空気圧を判断する目安は次の通りです。



- ◆本機に装着しているタイヤのサイズと規定空気圧

タイヤサイズ

13×5.00-6PR

(チューブレスタイヤ)

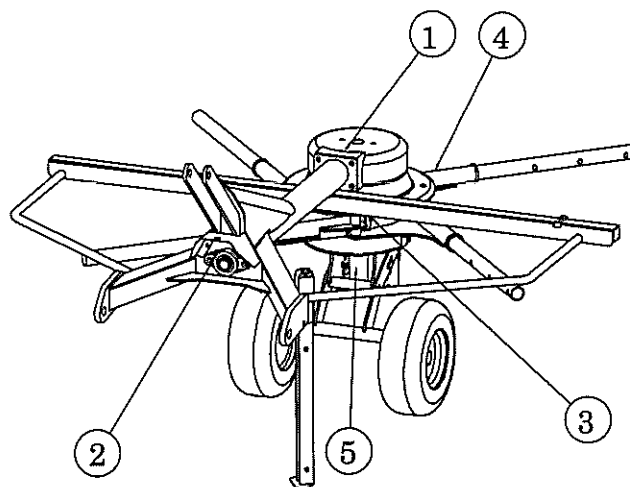
空気圧

2.5 kg/cm²以下

2. 各部へのグリスアップ

グリスアップ場所	グリスアップ箇所	グリスアップ時期
①ギヤケース	1ヶ所	50時間毎
②ベアリングユニット	1ヶ所	50時間毎
③カム	グリス塗布	50時間毎
④タインアーム	4ヶ所	50時間毎
⑤キャスター	1ヶ所	50時間毎
⑥ユニバーサルジョイント		使用毎

- グリスアップ箇所



※定期的に各部のグリスアップを行ってください

簡単な手入れと処置

3. 長期格納時の手入れ

作業が終了したら、次期の使用時に備えかつ、末長くご利用いただくためにも十分な手入れを行ってください。

- 水洗いをして付着した泥やほこりなどを落とし、巻き付いた草などを取除いてください。
- 乾燥後は、各回転部、摺動部には十分注油し、錆びないようにしてください。
- 塗装のはがれた部分には、補修塗料を塗り、錆が出ないようにしてください。
- 各部のボルト、ナットが緩んでいないかを確認し、緩んでいる所は締めて下さい。
- 各部の点検を行い、不良部は部品交換や修理を済ませておいてください。
- 格納する場所は、雨やほこりのかからない屋内に保管してください。
- 格納は平坦な所で保管してください。

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参 照 ページ
●集草列が不揃い	●P T O回転速度と車速があっていない ●キャンバスの調整が適正でない	●P T O回転速度と車速を合わせる ●キャンバスの調整をする	1 8 1 4
●かき残しがある	●タインと地面のスキ間が広い	●タインの高さを調整する	1 3

付 表

1. 主要諸元

品 名	ロータリレーキ		
型 式	TR2260		TR2260-0S
装 着 方 法	3点リンク直装式 (カテゴリO・I)		日農工標準オートヒッチ
駆 動 方 法	トラクタPTO駆動		
機 体 寸 法	全 長 (mm)		2060
	全 幅 (mm)	移 動 時	1750
		作 業 時	1850~2250
	全 高 (mm)		960
質 量 (kg)		135	
作 業 幅 (mm)		1700~2200	
作 業 速 度 (km/h)		3~5	
作 業 能 率 (分/10a)		7~11	
タ イ ヤ サ イ ズ		13×5.00-6PR	
適 応 馬 力 (kW[ps])		11.0~22.1 (15~30)	

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

部 品 名 称	部 品 コ ー ド	備 考
タイン	33110-3251-000	
キャンバス	41110-5511-000	
ジョイントピン	11228-2140-000	